

タイトル「**2021年度危機管理学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT2601		
科目名	危機管理基礎演習 I		
担当教員	安藤 貴世		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	火 2		
講義室	1201	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	専門		
科目中分類	専門基幹		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E 〔学識・専門技能〕 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP3-H 〔論理的思考力・批判的思考力〕 理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 DP4-F 〔探究力・課題解決力〕 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP6-K 〔表現力・対話力〕 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E1 学識・専門技能(25%) H2 批判的思考(25%) F1 探究と論拠(25%) K2 オーラル・コミュニケーション(25%)		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	2 進行情		
科目概要・キーワード	近年の国際性および無差別性を増すテロの状況を踏まえれば、国際法の果たす役割はそれに比例して高まっていることは言をまちません。そこで、この授業においては、世界各地で起るテロにいかに関係が関係し、どのように解決が図られたのかを学修者の発表を通じて検証します。その中では、①アジアにおいて各種のテロを行ってきた北朝鮮の事例、②代表的な国際的無差別テロである9.11同時多発テロ、③日本における国際テロ等を扱います。そして、この授業では双方向性を意識した発表を求めます。換言すれば、それは発表者と参加学生の間での対話や議論を通じて、理解を深めていく方法です。この方法で授業を行う利点は、話す内容が随時変化することから、予習の精度を高め、幅広い知識を獲得しておかなければ講義に参加できない点にあります。また、事前に学んだ知識を質問あるいは回答として発言しなければならぬため、知識を自分なりに運用する力を身に付けることも十分に期待できるのです。 なお、授業の一部を補完するため、あるいは代替するためにライブ形式のオンライン授業を取り入れる場合があります。開講曜日・時限に授業動画配信及び課題等を提示します。 （キーワード）危機管理・研究テーマの構築・ゼミナールへの橋渡し		
授業の趣旨	■ 副題 無差別テロに対する国際法的防止体制		

	■授業の目的 この授業は「無差別テロに対し、国際法を用いていかに対抗していくのか」についての検証を目的としています。テロだけでなく、テロに対抗する国際法を含めた形成過程は社会の縮図です。つまり、それらを検証することは、国際政治、国際社会、国際経済全体を見直す営みでもあります。本講義は、そうした認識の上に立ち、テロの事例および国際法を出発点としてグローバルな知識の涵養に努め、世界でも通用するコミュニケーション能力の確立を目指します。 ■授業のポイント この授業では、危機管理に関する研究テーマの探求、研究手法の会得、研究成果の発表の各過程を通じて、①探求力・課題解決力、②学識・専門技能、③論理的思考力・批判的思考力、④理解力・分析力、⑤表現力・対話力の各コンピテンスの開発を行います。また、将来のキャリアを見据えた学びにおいて、⑥自己の特性を理解し社会に貢献しようとする姿勢、⑦倫理観と公共心、⑧省察力の各観点について自覚を持つことも望まれます。														
総合到達目標	・テロに対して法的枠組みから捉える視点を身につけ、言語化できること。 ・政治的事象に対して複眼的に検証を加えられること。														
成績評価方法	■（適用ルーブリック割合）E1-25%、H2-25%、F1-25%、K2-25% ■授業参加度(50%)、教科書に基づく研究発表(30%)、質疑応答での発言(20%) 適用ルーブリック F1、K2 (評価基準)発表に際しては「教科書の内容を基盤としつつ、自らの意見をいかに構築しているか」「質疑応答を円滑に行えたか」を重点的に評価します。 (フィードバック方法)研究発表に際して講評を行うので、指摘した部分を自分で咀嚼し、参考とすること。														
履修条件	特に履修条件は設けません。														
履修上の注意点	ゼミナールの基礎作りと位置付けられる科目であることを自覚し、1年次で身に付けたものを発展・確認する意識をもって予習、授業、復習それぞれに注力すること。														
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 本授業の進め方、理念的な方向性、発表に必要な手法等を解説する。(A1) ③予習 (60分)自らの目標を明確にして授業に臨む。 ④復習 (60分)教員の解説、他の学修者の発言を踏まえ、自らの到達目標をより具体的なものに設定する。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 演習 ②授業概要 教科書の中から関心のある箇所を選択し、各自が発表を行う。その中で、教員が随時解説および講評を行う。(I3、K2) ③予習 (60分)発表者が指定した教科書の該当部分を通読する。 ④復習 (60分)発表・質疑応答の際に関心の深まった部分を自ら調べ、検討を加える。 </td></tr> <tr> <td>3</td><td> ①授業テーマ 演習 ②授業概要 教科書の中から関心のある箇所を選択し、各自が発表を行う。その中で、教員が随時解説および講評を行う。(I3、K2) ③予習 (60分)発表者が指定した教科書の該当部分を通読する。 ④復習 (60分)発表・質疑応答の際に関心の深まった部分を自ら調べ、検討を加える。 </td></tr> <tr> <td>4</td><td> ①授業テーマ 演習 ②授業概要 教科書の中から関心のある箇所を選択し、各自が発表を行う。その中で、教員が随時解説および講評を行う。(I3、K2) ③予習 (60分)発表者が指定した教科書の該当部分を通読する。 ④復習 (60分)発表・質疑応答の際に関心の深まった部分を自ら調べ、検討を加える。 </td></tr> <tr> <td>5</td><td> ①授業テーマ 演習 ②授業概要 教科書の中から関心のある箇所を選択し、各自が発表を行う。その中で、教員が随時解説および講評を行う。(I3、K2) ③予習 (60分)発表者が指定した教科書の該当部分を通読する。 ④復習 (60分)発表・質疑応答の際に関心の深まった部分を自ら調べ、検討を加える。 </td></tr> <tr> <td>6</td><td> ①授業テーマ 演習 ②授業概要 教科書の中から関心のある箇所を選択し、各自が発表を行う。その中で、教員が随時解説および講評を行う。(I3、K2) </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 本授業の進め方、理念的な方向性、発表に必要な手法等を解説する。(A1) ③予習 (60分)自らの目標を明確にして授業に臨む。 ④復習 (60分)教員の解説、他の学修者の発言を踏まえ、自らの到達目標をより具体的なものに設定する。	2	①授業テーマ 演習 ②授業概要 教科書の中から関心のある箇所を選択し、各自が発表を行う。その中で、教員が随時解説および講評を行う。(I3、K2) ③予習 (60分)発表者が指定した教科書の該当部分を通読する。 ④復習 (60分)発表・質疑応答の際に関心の深まった部分を自ら調べ、検討を加える。	3	①授業テーマ 演習 ②授業概要 教科書の中から関心のある箇所を選択し、各自が発表を行う。その中で、教員が随時解説および講評を行う。(I3、K2) ③予習 (60分)発表者が指定した教科書の該当部分を通読する。 ④復習 (60分)発表・質疑応答の際に関心の深まった部分を自ら調べ、検討を加える。	4	①授業テーマ 演習 ②授業概要 教科書の中から関心のある箇所を選択し、各自が発表を行う。その中で、教員が随時解説および講評を行う。(I3、K2) ③予習 (60分)発表者が指定した教科書の該当部分を通読する。 ④復習 (60分)発表・質疑応答の際に関心の深まった部分を自ら調べ、検討を加える。	5	①授業テーマ 演習 ②授業概要 教科書の中から関心のある箇所を選択し、各自が発表を行う。その中で、教員が随時解説および講評を行う。(I3、K2) ③予習 (60分)発表者が指定した教科書の該当部分を通読する。 ④復習 (60分)発表・質疑応答の際に関心の深まった部分を自ら調べ、検討を加える。	6	①授業テーマ 演習 ②授業概要 教科書の中から関心のある箇所を選択し、各自が発表を行う。その中で、教員が随時解説および講評を行う。(I3、K2)
回	内容														
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 本授業の進め方、理念的な方向性、発表に必要な手法等を解説する。(A1) ③予習 (60分)自らの目標を明確にして授業に臨む。 ④復習 (60分)教員の解説、他の学修者の発言を踏まえ、自らの到達目標をより具体的なものに設定する。														
2	①授業テーマ 演習 ②授業概要 教科書の中から関心のある箇所を選択し、各自が発表を行う。その中で、教員が随時解説および講評を行う。(I3、K2) ③予習 (60分)発表者が指定した教科書の該当部分を通読する。 ④復習 (60分)発表・質疑応答の際に関心の深まった部分を自ら調べ、検討を加える。														
3	①授業テーマ 演習 ②授業概要 教科書の中から関心のある箇所を選択し、各自が発表を行う。その中で、教員が随時解説および講評を行う。(I3、K2) ③予習 (60分)発表者が指定した教科書の該当部分を通読する。 ④復習 (60分)発表・質疑応答の際に関心の深まった部分を自ら調べ、検討を加える。														
4	①授業テーマ 演習 ②授業概要 教科書の中から関心のある箇所を選択し、各自が発表を行う。その中で、教員が随時解説および講評を行う。(I3、K2) ③予習 (60分)発表者が指定した教科書の該当部分を通読する。 ④復習 (60分)発表・質疑応答の際に関心の深まった部分を自ら調べ、検討を加える。														
5	①授業テーマ 演習 ②授業概要 教科書の中から関心のある箇所を選択し、各自が発表を行う。その中で、教員が随時解説および講評を行う。(I3、K2) ③予習 (60分)発表者が指定した教科書の該当部分を通読する。 ④復習 (60分)発表・質疑応答の際に関心の深まった部分を自ら調べ、検討を加える。														
6	①授業テーマ 演習 ②授業概要 教科書の中から関心のある箇所を選択し、各自が発表を行う。その中で、教員が随時解説および講評を行う。(I3、K2)														

	③予習 (60分)発表者が指定した教科書の該当部分を通読する。 ④復習 (60分)発表・質疑応答の際に関心の深まった部分を自ら調べ、検討を加える。
7	①授業テーマ 演習 ②授業概要 教科書の中から関心のある箇所を選択し、各自が発表を行う。その中で、教員が随時解説および講評を行う。(I3、K2) ③予習 (60分)発表者が指定した教科書の該当部分を通読する。 ④復習 (60分)発表・質疑応答の際に関心の深まった部分を自ら調べ、検討を加える。
8	①授業テーマ 演習 ②授業概要 教科書の中から関心のある箇所を選択し、各自が発表を行う。その中で、教員が随時解説および講評を行う。(I3、K2) ③予習 (60分)発表者が指定した教科書の該当部分を通読する。 ④復習 (60分)発表・質疑応答の際に関心の深まった部分を自ら調べ、検討を加える。
9	①授業テーマ 演習 ②授業概要 教科書の中から関心のある箇所を選択し、各自が発表を行う。その中で、教員が随時解説および講評を行う。(I3、K2) ③予習 (60分)発表者が指定した教科書の該当部分を通読する。 ④復習 (60分)発表・質疑応答の際に関心の深まった部分を自ら調べ、検討を加える。
10	①授業テーマ 演習 ②授業概要 教科書の中から関心のある箇所を選択し、各自が発表を行う。その中で、教員が随時解説および講評を行う。(I3、K2) ③予習 (60分)発表者が指定した教科書の該当部分を通読する。 ④復習 (60分)発表・質疑応答の際に関心の深まった部分を自ら調べ、検討を加える。
11	①授業テーマ 演習 ②授業概要 教科書の中から関心のある箇所を選択し、各自が発表を行う。その中で、教員が随時解説および講評を行う。(I3、K2) ③予習 (60分)発表者が指定した教科書の該当部分を通読する。 ④復習 (60分)発表・質疑応答の際に関心の深まった部分を自ら調べ、検討を加える。
12	①授業テーマ 演習 ②授業概要 教科書の中から関心のある箇所を選択し、各自が発表を行う。その中で、教員が随時解説および講評を行う。(I3、K2) ③予習 (60分)発表者が指定した教科書の該当部分を通読する。 ④復習 (60分)発表・質疑応答の際に関心の深まった部分を自ら調べ、検討を加える。
13	①授業テーマ 演習 ②授業概要 教科書の中から関心のある箇所を選択し、各自が発表を行う。その中で、教員が随時解説および講評を行う。(I3、K2) ③予習 (60分)発表者が指定した教科書の該当部分を通読する。 ④復習 (60分)発表・質疑応答の際に関心の深まった部分を自ら調べ、検討を加える。
14	①授業テーマ 演習 ②授業概要 教科書の中から関心のある箇所を選択し、各自が発表を行う。その中で、教員が随時解説および講評を行う。(I3、K2) ③予習 (60分)発表者が指定した教科書の該当部分を通読する。 ④復習 (60分)発表・質疑応答の際に関心の深まった部分を自ら調べ、検討を加える。
15	①授業テーマ 演習 ②授業概要 教科書の中から関心のある箇所を選択し、各自が発表を行う。その中で、教員が随時解説および講評を行う。(I3、K2) ③予習 (60分)発表者が指定した教科書の該当部分を通読する。 ④復習 (60分)発表・質疑応答の際に関心の深まった部分を自ら調べ、検討を加える。
関連科目	①演習系科目としては、自主創造の基礎1・2(RMGT 1215・1216)、ゼミナールⅠ～Ⅳ(RMGT 4601～4604)と関連します。とくに、ゼミナールⅠ～Ⅳへの橋渡しの意味をもちます。 ②講義科目としては、国際テロリズム論(RMGT2306)と関連します。
教科書	金恵京『無差別テロ－国際社会はどう対処すればよいか』岩波書店、2016.
参考書・参考URL	特に設けません。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 木曜日 3時限(13:00～14:30)

	それ以外の時間については、メール等で事前にアポイントメントをとることにより研究室で対応します。
研究比率	法学-60%、危機管理学-40%

